

# 『立ち位置』

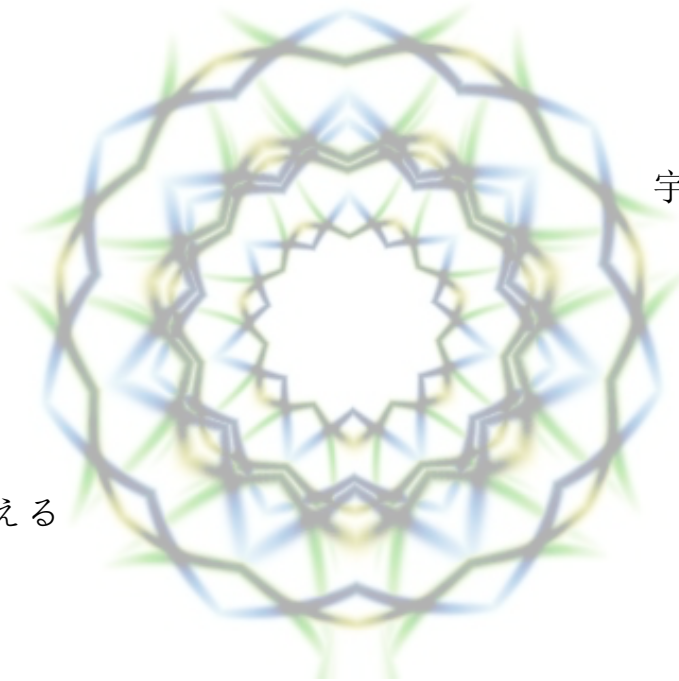
～エネルギーチャクラに関するの考察～

背骨の付け根から  
世界を見ると  
存在は硬く荒々しく  
定義づけられる

鼠蹊部の花芯より  
世界を見ると  
万物は  
欲望の海に浮遊する

腸の中から  
世界を見ると  
食べ尽くすことが  
すべての本質のように見える

心臓の鼓動とともに  
世界を見ると  
愛と思いやりの光で  
満ち溢れている



咽喉から  
世界を見ると  
そこはまさに  
共鳴しあう  
音の宇宙

3番目の目から  
世界を見ると  
宇宙は小さな光の点に  
溶け込む

天空の高見から  
世界を見ると  
他者も自己も  
称賛も恐れも  
何もない

観点は、  
立ち位置で  
決まる  
どの位置で  
世界を見たらよいのか

- T Newfields (和訳: 吉田典子)

